

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第6回朝霞第七小学校学校運営協議会	
開催日時	令和7年3月11日（火） 午後1時30分から午後2時40分まで	
開催場所	朝霞第七小学校 1階 第2図工室	
出席者及び欠席者の職・氏名	学校運営協議会委員5名 事務局 1名（朝霞第七小学校教頭） 欠席者 3名	
議題	学校評価について 次年度の予定について	
会議資料	・会議次第 ・学校評価資料 ・令和7年度について	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法：委員長による確認	
傍聴者の数	傍聴者 0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（校長あいさつ）

先週に引き続きです。残り10日を切っている。先日、全校で6年生を送る会を行った。全学年体育館に入り行った。大変温かい雰囲気であった。それぞれの立場で、歌や楽器の演奏、学校にまつわるクイズ等、発表を行い、素晴らしい機会となった。現在、音楽クラブの演奏が体育館で行われている。聞きたい子が集まり、演奏を披露している。認めてもらういい機会となっている。本校の学校目標の具現化の機会となっている。前回に引き続き、学校目標や令和7年度の予定について検討いただきたい。

（校長）

学校評価は、公表する必要がある。また、学校関係者評価についても公表するため、まとめている。昨年度と同様の形式である。ご意見等記載している。関係者評価の内容については、それぞれの意見をまとめている。ご意見あればいただきたい。

学校運営については、ホームページだけの情報だけであると、厳しいという意見を伺っている。保護者連絡アプリについては、前回話した通りである。PTAや地域と連携があってもよいというアイデアを伺った。

基礎学力については、欠席時にオンライン学習について対応すること、音読の取組について記載している。授業改善については、教員の指導の仕方について、なるべく差がでないようにしていく。AIドリル等、新しい学習への取組を行っているという意見である。

規律ある態度については、県の3つの達成目標から、「時間を守る」「進んであいさつや返事をするができる」等の項目から調査、評価している。昨年度の同じ児童との比較をしてみると、できるようになったと考えている児童が多い。「話を聞き発表する」はずっと課題となっている。自分事として自信を持てるようにしていきたい。

（委員）

調査の仕方や具体的な声掛けでも数値はかわってくるかもしれない。

（校長）

くつをそろえる等、日頃の先生方の声かけでもかわってくる。

（委員）

外から学校に来ると、児童はみんなあいさつをしてくれる。

（校長）

できる、できない両方の声が聞こえてくる。例えば学習の準備とか、クラスに入らないと見えないところもある。学年によってはまだまだと、捉える児童も多くなる。周りが見えてくる。

（委員）

1年に1回振り返ることはいい機会であると思う。

（委員）

タブレットの持ち帰りでも、差がある。やはりタブレットよりも、紙の方がいいと考えている。タブレットは新しいツールとして活用できるが、まだ、教科書の代替にはなっていないと思う。咳が出て欠席のときに、オンラインをしてくれるところと、やらないと言ってくるところとがある。学力に影響がなければよいが。

(校長)

オンラインにも限度がある。体育の様子などは画面写しても難しいと思う。揃えることができるところは揃えたいと思う。

(委員)

タブレットは授業支援のツールとわりきって使用するのもありではないか。

(校長)

健康・体力向上については、この項目の子どもたちの取り組んでいると感じている割合が低い項目である。体育以外で、放課後や休日等に、外遊び等の運動をしているかという聞かれ方である。

(委員)

ちょっと外で遊ぶだけでも、取り組んでいるといえるのではないか。また寒い時期に調査すると外に出にくくなる時期なので、結果が悪くなることが予想される。

(校長)

今回いただいた意見も踏まえて、取りまとめていきます。

(委員長)

毎回学校評価をするときに困る。なかなか学校の様子を見る機会がない。学校運営協議会のときに授業を見る機会等があるとよい。行事関係と重なっているときに観ることができればいい機会となる。でてきた学校評価については、学校で分析して取り組んでいければそれでよいと思う。それをここで深めるのは、難しい。

(校長)

つなぐ機会を増やしていきたいと思う。今年度も、委員の話から、金融教育の実践につながった。教育計画の位置付けから考えていけるとよい。

(委員)

全部参加できるわけではないので、写真等資料があるとよい。またHPでも発信していけるとよい。学校によっては、取組を発信しているところもある。七小は情報量がないので、増やしていけるとよい。保護者も同様の意見があがっている。イベントについては、一声かけられるとよい。七小の運営協議会についても、みんなで活発に議論していけるとよい。

(校長)

七小に触れてもらう機会を確保する必要があると捉えている。もしかしたら保護者の学校評価の回収率が低いのもつながっているのかもしれない。また、運営協議会自体も課題があるかもしれない。

(委員長)

避難訓練は町内であるのか？

(委員)

そういった機会が少ない。あってもいつも同様のメンバーである。ある地区では、日本人が少なく組織自体維持できなくなっている。

(委員長)

3. 1 1 後、近くの地域で、中学校と町内会合同で避難訓練を行ったことがあった。大変だったけど、学校と地域が近づいた気がした。非常災害時は、学校は避難場所となる。地域とつながっておかないと大変なことになる。

(校長)

災害時、マネジメントは、市の管轄になる。有事になってみないとどうなるかわからないことがある。

(委員長)

備蓄庫も確認しておく必要がある。

(委員)

定期的に、中身は入れ替えが必要で点検を行っているはずである。以前は炊き出しの活動を校庭で行ったこともあった。

(委員)

避難訓練は、学校と児童で行っているのなら、消防士等、専門的な方に見てもらふ必要もあると思う。

(校長)

消防団と組むこともできるかもしれない。

(委員長)

煙体験や起震車等で体験をすることもあった。事前通知なしや、ショート訓練等のバリエーションもある。

(委員)

保護者も巻き込んでいけるとよい。例えば、不審者を想定した避難訓練は、一緒に避難をしたり、不審者役をしたりする等、学校職員だけではできない変化をつけて実施することができるのではないかな。

(校長)

今回のご意見を入れて、改善に努めていきます。